

# 防衛北海道

令和3年

4月発行 Vol.75



## 目次

- 我が国の防衛と予算について ..... 2~3
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るために ..... 4~5
- 「絆」（きずな）江別市の紹介 ..... 6~7
- 令和3年度 自衛官等採用の受付が始まりました ..... 8



編集・発行

防衛省北海道防衛局広報誌等編集委員会  
札幌市中央区大通西12丁目札幌第3合同庁舎  
Tel.011-272-7579  
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



# 我が国の防衛と予算について

## 令和3年度防衛関係費

(単位：億円)

区分	令和2年度 予算額	対前年度 増△減額	令和3年度 予算額	対前年度 増△減額
	防衛関係費（歳出予算）	50,688	618 [1.2]	51,235
新規後年度負担	24,050	37 [0.2]	24,090	40 [0.2]

- [ ]は対前年度伸率(%)
- SACO関係経費、米軍再編関係経費のうち地元負担軽減分等を除いたもの。
- 令和3年度予算額には、内閣官房及びデジタル庁（仮称）へ振り替える経費を含む。

## 令和3年度防衛関係費の主な事業

防衛大綱及び中期防の3年目として、宇宙・サイバー・電磁波領域を含む領域横断作戦の実施が可能となるよう「多次元統合防衛力」の構築に向け着実に防衛力を強化

### 1. 宇宙領域における能力強化

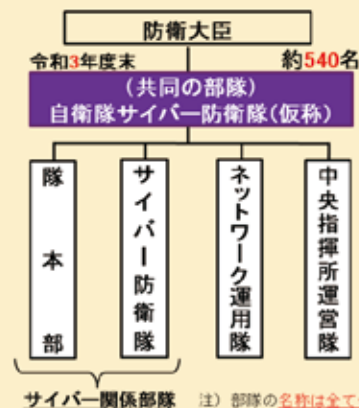
- SSA※衛星（宇宙設置型光学望遠鏡）の整備（175億円）  
※ Space Situational Awareness：宇宙状況監視
- SSAシステム等（SSAレーダーの整備に必要な器材や施設等）の整備（113億円）
- 「みちびき」を活用した衛星測位能力の抗たん性向上（4億円）
- 衛星コンステレーションによるHGV※探知・追尾システムの概念検討（1.7億円）  
※ Hypersonic Glide Vehicle：極超音速滑空兵器
- 宇宙領域における指揮統制を担う部隊を含む宇宙作戦群（仮称）の新編



SSAの強化（イメージ）

### 2. サイバー領域における能力強化

- 自衛隊サイバー防衛隊（仮称）の新編
- サイバーセキュリティ統括アドバイザー（仮称）（高度サイバー人材）の採用（0.2億円）
- サイバー演習環境の整備（16億円）



自衛隊サイバー防衛隊（仮称）の新編（イメージ）

### 3. 電磁波領域における能力強化

- 電波情報収集機（RC-2）に搭載する装置の取得（69億円）
- 次期電子情報収集機の情報収集システムの研究（27億円）
- 車載レーザシステムの実証（28億円）
- 統合電子戦訓練の実施（0.2億円）



電波情報収集機（RC-2）

### 4. その他

- 5G実証実験（4億円）  
※空自千歳基地などに5Gネットワークを仮設して利用環境を整備し、スマート基地構想の実現等に向けた取組の実証実験を実施



統合電子戦訓練の様子（イメージ）

### 5. 海空領域における能力強化

- 戦闘機（F-35A）の取得（4機：391億円）
- 戦闘機（F-35B）の取得（2機：259億円）
- 12式地对艦誘導弾能力向上型の開発（335億円）
- 次期戦闘機の開発等（576億円）
- 「いずも」型護衛艦の改修（203億円）



戦闘機（F-35B）

### 6. 総合ミサイル防空能力の強化

- 自動警戒管制システム（JADGE）の能力向上（221億円）  
※一元的指揮統制による経空脅威への対応のため、探知識別能力、情報処理能力等を向上
- イージス・システム搭載艦の検討に係る技術支援役務（17億円）



輸送機（C-2）

### 7. 機動・展開能力の強化

- 輸送機（C-2）の取得（1機：225億円）
- 新多用途ヘリコプター（UH-2）の取得（7機：125億円）

### 8. 持続性・強靱性の強化

- 継続的な部隊運用に必要な各種弾薬の取得（2,293億円）※前年度比34%増
- 装備品の維持整備に必要な経費の着実な確保（11,282億円）※前年度比17%増



改修前（男性用）

改修後（女性用）

女性用トイレの整備  
（男性用から女性用への改修）

### 9. 人的基盤の強化

- 女性の活躍推進や生活・勤務環境の改善  
※自衛隊施設の整備（501億円）、備品や日用品等の整備（38億円）等
- 任期制自衛官の退職時の進学支援（0.1億円）



詳しい内容は、  
こちら（防衛省HP）から

## 防衛施設と周辺地域との調和を図るために

### ～民生安定施設整備事業（一般助成）の紹介～ 稚内分屯基地等周辺ごみ処理施設（埋立処分地施設）設置助成事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

今回は、民生安定施設整備事業のうち、令和2年12月1日に供用開始された稚内市のごみ処理施設について紹介します。

今回完成したごみ処理施設は、全国でも事例の少ない自走式の覆蓋施設が導入され、ごみの飛散や鳥獣被害対策が施された施設であり、防衛施設及び一般家庭から排出される廃棄物を安定的かつ適正に処理するため、新たに埋立処分地施設を整備し、地域住民の生活環境を保全することを目的として、ごみ処理施設の整備事業に対し補助を行いました。

#### 【補助事業の概要】

事業年度：平成29年度～令和2年度

補助対象事業費：約26億7千万円

補助額：約13億3千万円（補助率：5/10）

処分場形式：クローズド型廃棄物最終処分場

埋立容量：約140,000m<sup>3</sup>

埋立処分地施設全景



管理棟・浸出水処理棟



浸出水処理棟内



#### 【市職員の声】

新たな埋立処分地施設の埋立期間は10年間を予定していますが、食品ロス削減によるごみの排出抑制をはじめ、生ごみや資源物の分別の徹底など、市民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、一日でも長く使用していきたいと考えています。

# 防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～騒音防止事業（一般防音）の紹介～

防衛省は、飛行場における自衛隊等の航空機の離着陸、演習場におけるひん繁な射撃や火薬類の使用等により生ずる音響で著しいものを防止し、又は軽減するため、騒音防止事業（一般防音）として、地方公共団体等が学校や病院等の施設について必要な工事を行うときに、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第3条第2項に基づき、その費用の全部又は一部を補助しています。

今回は、北海道防衛局が補助した事業のうち、令和2年7月に完成した標茶町立標茶中学校防音事業について紹介します。

## 標茶町立標茶中学校防音事業

矢臼別演習場では、一年を通じて自衛隊等による射撃訓練が実施されています。このような中、標茶町は演習場の近傍に所在する標茶中学校の教育環境の改善を目的とした校舎改築を含む防音工事を実施したところですが、当局は、この事業に対して騒音防止事業として補助を行っています。

### 【補助事業の概要】

事業年度：平成30年度～令和2年度  
補助対象事業費：約14億6千万円  
補助額：約10億9千万円  
構造：RC造3階建  
面積：3,962㎡



建物外観



教室内



図書室内



先生の声：授業中は演習の砲撃音等が聞こえなくなり、生徒も教師も授業に集中できる環境になりました。  
また、空調により校内の気温が設定温度に保たれるようになったため、生徒の身体への負担が少なくなったようです。  
生徒の声：授業中は外の音が気にならなくなったので、防音になって良かったです。  
旧校舎と違い、冬は暖かく夏も快適になりました。

きずな  
「絆」江別市の紹介



〒 067-8674  
江別市高砂町6番地  
電話 011-382-4141 (代表)  
<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>

# 江別市



ガラス工芸館

北海道江別市は札幌市に隣接し、人口は道内で7番目。快適な都市環境と豊かな自然環境の両方を兼ね備え、近年は、子育て世代の転入が増えています。

札幌までは電車でわずか19分（札幌―野幌間）と通勤・通学に便利で、2つある高速道路のICが道内各地へのアクセスを容易にしています。

また、4つの大学を抱え、文教都市としての側面があるほか、面積の約4割を占める農地が生み出す豊かな「食」が観光誘致や市民の健康づくりなどを後押ししています。



江別には、約130年にわたるれんがの歴史があります。現在でも3つのれんが工場が稼働しており、市内を散策すると美しいれんがの建物が随所にあります。

また、小麦の産地でもあり、かつて幻の小麦といわれた「ハルユタカ」は全国一の生産量を誇ります。

市内には、製粉工場や地元小麦を扱う食品工場、飲食店、パン屋等が数多くあるので、是非食べにきてください。





日頃より、陸上自衛隊第11高射特科隊には、江別市の防災事業への積極的な参加、危機管理や防災対策の推進、安心・安全なまちづくりにご尽力いただいております。

また、平成26年の大雨による断水、平成30年の北海道胆振東部地震による断水の際には適切かつ迅速な給水活動を賜るなど、市民の安全・安心を支えていただいております。

## 総合防災訓練のようす



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表	待遇・その他
幹部候補生	一般 22歳以上26歳未満の男女（20歳以上22歳未満の方は大卒（見込含）、修士課程修了者等（見込含）は28歳未満の方）	①3月1日～4月28日 ②3月1日～6月18日（飛行要員除く。）	①1次：5月8日・9日 2次：6月8日～14日 3次：（海・空飛行要員のみ） （海）：7月5日～9日 （空）：7月17日～8月5日	①1次：6月1日 2次（海空飛行要員のみ） （海）：6月28日 （空）：7月2日 最終 （陸）：7月23日 （海）：7月30日 （空）：8月27日	入隊後約1年で3等陸・海・空尉 （院卒者試験合格者は2等陸・海・空尉）
	院卒者 20歳以上28歳未満の男女、修士課程修了者等（見込含）		②1次：6月26日 2次：8月2日～8日	②1次：7月23日 最終：9月22日	
	歯科・薬剤科 専門の大卒（見込含）20歳以上30歳未満の男女（薬剤科は20歳以上28歳未満の男女※1）	①1次：5月8日 2次：6月8日～14日	①1次：6月1日 最終 （陸）：7月23日 （海空）：7月30日	歯科は入隊後約6週間で2等陸・海・空尉 薬剤科は入隊後約1年で2等陸・海・空尉	
一般曹候補生	18歳以上33歳未満の男女（32歳の方は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない方）	①3月1日～5月11日 ②7月1日～9月6日	①1次：5月21日～30日 2次：6月18日～7月4日 ②1次：9月16日～19日 2次：10月9日～24日 ※いずれか1日を指定されます。	①1次：6月11日 最終：7月23日 ②1次：10月4日 最終：11月16日	入隊後2年9ヶ月経過以降選考により3等陸・海・空曹
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の男女（32歳の方は、採用予定月の1日から起算して3ヶ月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない方）	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。 ※2	合格発表日は、試験日にお知らせします。	所要の教育を経て、3か月後に2等陸・海・空に任用 陸上（技術系除く）は1年9か月、陸上（技術系）・海上・航空は2年9か月を1任期として任用（以降2年を1任期）
予備自衛官補	（一般） 18歳以上34歳未満の男女	①1月6日～4月9日	①4月17日～4月21日	①5月21日	階級は指定しない。 教育訓練召集手当 ：日額7,900円 所定の教育訓練終了後、予備自衛官として任用
	（技能） 18歳以上で国家免許資格等を有する男女（資格により年齢上限は53歳未満～55歳未満）	②7月1日～9月17日 ※3	②10月2日～5日 ※いずれか1日を指定されます。	②11月5日	

※1：①学校教育法に基づく大学において、正規の薬学の課程（6年制の課程に限る。）を修めて卒業した者（令和4年3月卒業見込みの者を含む。）  
②外国の薬学校を卒業し、又は外国の薬剤師免許を受けた者で、厚生労働大臣が①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者  
③平成18年度から平成29年度までの間に学校教育法に基づく大学に入学し、4年制薬学課程を修めて卒業し、かつ、学校教育法に基づく大学院において薬学の修士又は博士課程を修了した者であって、厚生労働大臣が、厚生労働省令で定めるところにより、①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者に限ります。  
※2 令和4年3月高等学校卒業予定者又は中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、令和3年9月16日以降に行います。  
※3 第1回で採用予定数を採用した場合、第2回は実施しない場合があります。

お問い合わせは  
お近くの地方協力本部へ



採用種目別に各種処遇を紹介！

デジタルパンフレットは  
コチラ



自衛官募集HP

旭川地方協力本部  
0166(51)6060

札幌地方協力本部  
011(631)5472

帯広地方協力本部  
0155(23)5882

函館地方協力本部  
0138(53)6241